



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所 上場取引所 東
コード番号 6022 URL <https://www.akasaka-diesel.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 阪口 勝彦
問合せ先責任者 (役職名)代表取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 塚本 義之 (TEL)054(685)6081
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,781	9.9	△89	—	△62	—	△45	—
2023年3月期第2四半期	3,442	0.9	122	779.0	186	83.2	116	55.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△34 02	— —
2023年3月期第2四半期	88 30	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,905	8,351	64.7
2023年3月期	12,701	8,111	63.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 8,351百万円 2023年3月期 8,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	— —	— —	— —	30 00	30 00
2024年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
2024年3月期(予想)	— —	— —	— —	— —	— —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	13.7	10	△91.1	40	△87.4	30	△88.2	22 65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	1,540,000株	2023年3月期	1,540,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	215,461株	2023年3月期	215,261株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	1,324,650株	2023年3月期2Q	1,324,391株

(注) 当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. その他	7
生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化が一段と進みましたが、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の高騰、各国の金融引き締めと円安の進行、資源高の影響による物価上昇等もあり、引き続き先行き不透明な状況が続いています。

海運業界は、資機材価格の高騰が続いており、環境規制対応コスト増が見込まれることから船価動向を見極めたい船主が様子見している状況であります。また、船員不足に対応した自動運航船の実現に向けた実証実験が進められております。

造船業界は、既存船に対する燃費規制(EEXI)や燃費実績の格付け制度(CII)により、省エネ技術開発や次世代燃料機関等、環境規制対応が求められております。

このような状況下、当社は、海運造船業界が求める環境規制対応や自動運航船の実現の為の研究開発活動を推し進めております。

当第2四半期累計期間における業績は、売上金額の大きい2サイクル船用内燃機関の売上が増加した結果、売上高3,781百万円(前年同期比9.9%増)となりました。収益面では資材費等コストアップの影響を製品価格に転嫁しきれていないこと、また、前期の設備投資による減価償却費の増加もあり、経常損失62百万円(前年同期経常利益186百万円)、四半期純損失45百万円(前年同期四半期純利益116百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は12,905百万円となり、前事業年度末に比べ204百万円増加いたしました。主な要因は、株価上昇による投資有価証券の増加等により固定資産の増加(944百万円)等の一方、現金及び預金や仕掛品の減少等による流動資産の減少(740百万円)によるものです。

当第2四半期会計期間末の負債は4,553百万円となり、前事業年度末に比べ35百万円減少いたしました。主な要因は前受金等の減少による流動負債の減少(10百万円)と社債の償還、長期借入金の返済等による固定負債の減少(25百万円)によるものです。

当第2四半期会計期間末の純資産は8,351百万円となり、前事業年度末に比べ239百万円増加いたしました。主な要因は、保有株式の株価回復によるその他有価証券評価差額金の増加(325百万円)等によるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は64.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べて964百万円減少し、当第2四半期会計期間末には1,059百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は101百万円(前年同期は195百万円の獲得)となりました。これは主に、減価償却費187百万円及び棚卸資産の減少額129百万円等の増加に対し、売上債権の増加額372百万円等の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は672百万円(前年同期は335百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出737百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は190百万円(前年同期は180百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出111百万円や配当金の支払額40百万円等の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月11日に発表いたしました数値から変更はありません。配当予想につきましても、現時点で今後の動向を見通す合理的な算定を行うことは困難であるため、未定とさせていただきます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,206,494	1,260,385
受取手形及び売掛金	2,146,848	2,519,302
製品	—	83,650
仕掛品	2,535,428	2,307,766
原材料及び貯蔵品	478,391	493,188
その他	68,683	31,291
貸倒引当金	△1,248	△1,454
流動資産合計	7,434,597	6,694,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,370,073	1,316,921
その他（純額）	1,938,661	1,903,763
有形固定資産合計	3,308,734	3,220,684
無形固定資産		
無形固定資産	103,600	101,964
投資その他の資産		
投資有価証券	1,079,770	1,551,849
その他	795,116	1,356,137
貸倒引当金	△20,745	△19,726
投資その他の資産合計	1,854,141	2,888,260
固定資産合計	5,266,475	6,210,910
資産合計	12,701,073	12,905,040

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,518,486	1,544,403
短期借入金	408,929	415,019
未払法人税等	31,136	15,854
賞与引当金	143,800	146,200
製品保証引当金	34,442	25,492
受注損失引当金	32,228	90,578
その他	1,012,736	933,621
流動負債合計	3,181,757	3,171,168
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	564,177	454,547
引当金	61,684	68,576
その他	701,872	799,468
固定負債合計	1,407,734	1,382,591
負債合計	4,589,492	4,553,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,752,432	5,666,607
自己株式	△435,951	△436,375
株主資本合計	7,752,827	7,666,578
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	358,753	684,701
評価・換算差額等合計	358,753	684,701
純資産合計	8,111,580	8,351,279
負債純資産合計	12,701,073	12,905,040

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	3,442,739	3,781,856
売上原価	2,669,462	3,168,244
売上総利益	773,276	613,611
販売費及び一般管理費	650,648	702,658
営業利益又は営業損失(△)	122,627	△89,047
営業外収益		
受取利息	81	1,253
受取配当金	19,890	25,697
助成金収入	37,318	300
その他	14,345	8,166
営業外収益合計	71,635	35,417
営業外費用		
支払利息	5,991	8,297
その他	1,944	225
営業外費用合計	7,936	8,522
経常利益又は経常損失(△)	186,326	△62,153
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,333
特別利益合計	-	1,333
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	186,326	△60,819
法人税等	69,376	△15,760
四半期純利益又は四半期純損失(△)	116,950	△45,059

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	186,326	△60,819
減価償却費	158,008	187,475
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	-	△1,333
助成金収入	△37,318	△300
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△346	△812
賞与引当金の増減額 (△は減少)	400	2,400
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△19,157	△8,950
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,417	1,505
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	1,078	4,961
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,237	425
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,912	58,350
受取利息及び受取配当金	△19,972	△26,951
支払利息	5,991	8,297
売上債権の増減額 (△は増加)	△262,830	△372,224
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14,504	129,214
仕入債務の増減額 (△は減少)	166,327	25,917
その他	13,562	△52,045
小計	168,998	△104,891
利息及び配当金の受取額	19,972	26,951
利息の支払額	△5,947	△8,649
保険金の受取額	10,016	-
補助金の受取額	-	486
助成金の受取額	40,518	300
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△38,369	△16,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,189	△101,912
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△495,000	△737,000
定期預金の払戻による収入	217,000	169,000
固定資産の取得による支出	△54,990	△102,147
投資有価証券の取得による支出	△5,203	△7,874
投資有価証券の売却による収入	-	5,101
貸付金の回収による収入	1,902	2,009
その他	394	△1,227
投資活動によるキャッシュ・フロー	△335,896	△672,137
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	8,340
長期借入金の返済による支出	△115,028	△111,880
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
リース債務の返済による支出	△6,693	△25,502
自己株式の純増減額 (△は増加)	1,188	△424
配当金の支払額	△40,343	△40,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,875	△190,059
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△321,583	△964,109
現金及び現金同等物の期首残高	2,338,834	2,023,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,017,251	1,059,385

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

当社の事業は船用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであります。

①生産実績

当第2四半期会計期間の生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	3,880,084	12.1

(注) 金額は、販売価格によっております。

②受注実績

当第2四半期会計期間の受注実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	3,903,363	13.6	1,977,990	△3.5

③販売実績

当第2四半期会計期間の販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	3,781,856	9.9